

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立三郷特別支援学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が示されている学校像である。地域での学校の置かれた状況や課題などを評価運営委員会等での的確に把握した上で、簡潔かつ明瞭なものが設定されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	キャリア教育の観点を加えるなど、前年度と比べて重点化が図られ、学校を目指すところが示されている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートと連鎖した取組はAシート、それ以外の取組はBシートという二種類の分掌・学部シートが作成されるなど、学校全体と分掌・学部の連携を密にして、重点目標達成のための取組が進められている。学校自己評価システムが組織的かつ適切に運営されており、アンケートの意見等もうまく活用された取組となっている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体の目標に基づいて、分掌・学部等が目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、取組指標と成果指標をうまく組み合わせで分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	評価運営委員会・企画委員会、職員会議において、校長が学校の課題等に関する教職員の共通理解を図っている。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、課題解決の方向を示している。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。アンケート結果や学校関係者の意見等を更に分析して、達成状況や課題を的確に把握し、保護者など学校関係者の参画を一層高めながら、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			